

少子高齢化により産業構造に変化

就業者、介護や保育で増加

- 2015年国勢調査はグローバル化と産業構造の変化が顕著に表れる結果に。
- 前回調査に比べ、介護や保育士が増加。高齢化によるニーズの増加や女性の社会進出が要因か。
- 人口の減少により人手不足は深刻に。業績が伸びない産業は衰退が進むことも懸念される。

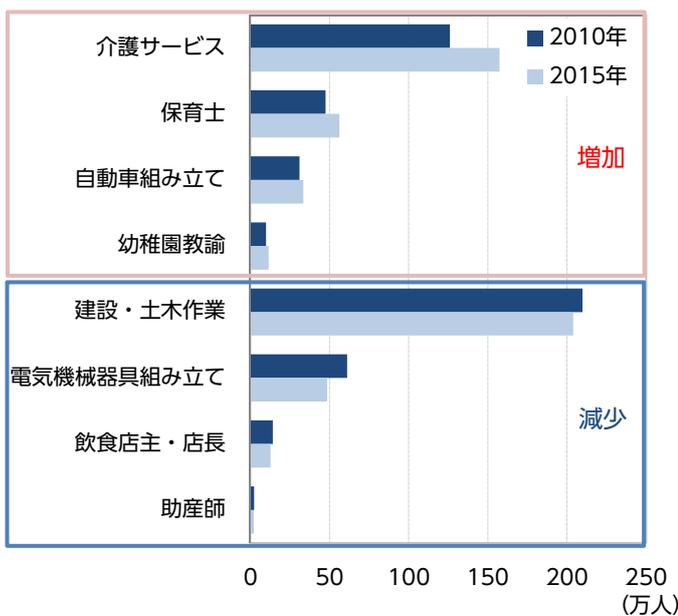
総務省が公表した2015年の国勢調査（抽出速報）は、グローバル化と少子高齢化による産業構造の変化を映し出す結果となりました。介護などのサービス業の働き手が増えた一方、製造業は海外展開の拡大と大手の業績不振で減少となりました。

就業者が増えたのは社会保障分野で、2005年の前回調査と比べ、介護は24.7%、保育士は18.4%それぞれ増加となりました。小中高の教員は減少したものの、幼稚園教諭は2割近く増加しました（図表1）。高齢化により介護ニーズが増加し、女性の社会進出も進んだものとみられます。保健医療分野の増加も顕著であり薬剤師は16.3%増加で同分野全体の伸び率を上回りました。しかし、助産師は減少傾向にあり、子どもを産み育てやすい環境づくりにはまだまだ課題がありそうです。

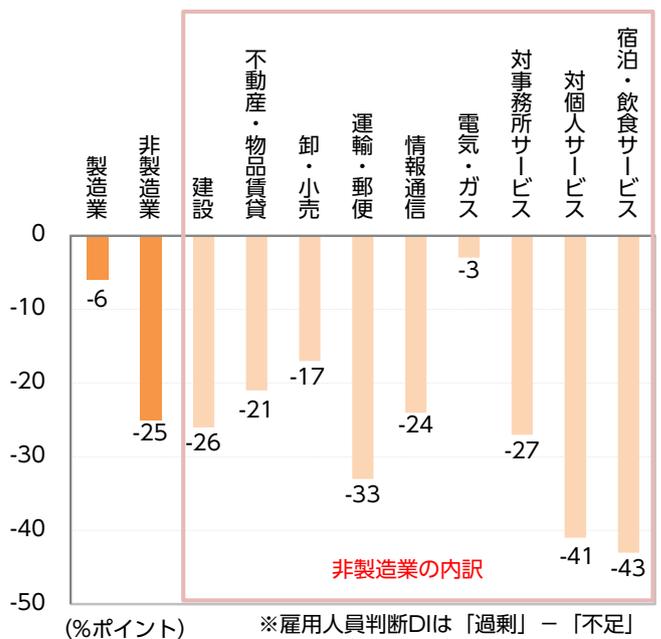
就業者が増加するサービス業に対して、製造業や建設業などの第2次産業は減少基調にあります。自動車の組み立てや検査で働く人は増加しているものの、大手電気機器メーカーの経営不振等が響いているようです。

人口の減少により人手不足は深刻さを増しています（図表2）。業績が伸びない産業は就業者が集まらず、衰退が進む恐れも懸念されます。

図表1：主な職業の就業者数



図表2：主な業種別の雇員判断D I（2016年6月調査）



出所) 図表1は総務省「国勢調査」、図表2は日銀短観のデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号
加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント